

第 1 検討部会 会議録

会議の名称	第 22 回 第 1 検討部会
開催日時	平成 20 年 8 月 8 日（金）午後 6 時 10 分から午後 8 時 25 分
開催場所	メディアセブン コミュニケーションスタジオ AB
出席者	（部会長）金井副委員長 （副部会長）金子委員、神尾委員 （委員）池田委員、落合委員、林委員
会議内容	・編集委員会の検討の経緯と結果について ・広報・PI の検討の経緯と結果について
会議資料	
発言内容	・第 22 回の部会を開催します。 ・まず編集委員会の経過について、落合委員さんからお願いします。 ・5 部会の項目案の作業を受けて、10 回の検討を進めました。 ・あまりにも 5 部会の足なみがそろっていないということで途中で、各部会に検討課題を出して検討してもらい、その結果を受けて 7 月に集中的に議論しました。 ・私の個人的な感想を述べさせていただくと、われわれ第 1 部会としては、“市民が主人公の川口市自治を目指すという理念のもとに、体系的にも完結した、自信満々の案”を提案したのですが、第 4 部会は非常にシンプルなもの、2、3、5 の部会はそれぞれ特定の分野についての検討結果でした。2、3、5 の部会はまちづくりの協働を念頭におきながら、そのための条例を自治基本条例と考えていたようでした。 ・第 1 部会の基本的な考え方は、5 つの部会の項目案の 1 本化を目指して譲るべきところは譲ったことで、第 1 部会の案が素案にはあまり盛り込まれないままになってしまいました。 ・体系についても私は再三議論することを求めましたが、編集委員会としては結局は議論しないままになってしまいました。 ・各委員の考え方、スタンスは異なっていて、それをまとめようとする機運が編集委員会にはなかなかできなかったと思います。 ・各部会でかなり認識が違うのかな、なかなか調整が難しいかなと感じました。 ・大変ご苦労したとも聞いています。 ・私からみると、本質的でないところで、議論がぐるぐる回り時間が費やされてしまい、もう少し前に進められればと思いました。

- ・編集委員さんは、休日や深夜に及ぶ議論を何度も重ねられて大変ご苦勞をされたと思います。落合委員さんは第1部会の考え方もしっかりと伝えていましたし、よい案については歩み寄ることもされてました。
- ・それぞれの委員がそれぞれの部会の代表として出てきているところもあって、調整が難しかったところがあります。
- ・自治には相当時間がかかるという印象を改めて感じました。
- ・編集委員会（長）がまとめることを回避していた感があり、また、まとめる能力がないということもあったと思います。
- ・ここまで議論したのですから、まとめる体制をつくることにもっと力を割くべきだったかもしれません。
- ・自分たちに決定する権限がないという意見が編集委員会であったのにも違和感をもちました。まとめる権限はあるということが最後のほうまで共通認識になっていなかったようです。
- ・やはり各部会の代表であるという意識が編集委員さんに強すぎたことは気になります。
- ・何のための自治基本条例かという点がぶれているところがありました。他の部会では、「まちづくり」のためだ、「協働」のためだというところがあったと思います。
- ・私が傍聴にいきましたのは1つには落合委員さん、池田委員さんを応援したいという目的が、もう1つには広報PIを考えるうえでも、編集委員会の検討を皮膚感覚で感じ取っておく必要があると思ったからです。
- ・まとめることは大変だとは思ったのですが、市民の間で議論するのは一つの財産になっていくのではないかと思います。また、市民が変わっていくことにもなるのではないかと感じました。
- ・面白かったのは“自治基本条例おでん論”です。どんな具を入れるか、どんな味付けにするのかという話がありました。
- ・本当にみなさんお忙しいなか真剣に検討されているのを見て、よかったと思いました。
- ・一言でいうと、「会議が踊る」ということです。たとえ話が多過ぎる印象を受けました。「根本をやりましょう」と思いました。
- ・話しあえば話し合うほど迷走し、言わなくてよいことまで言うことになっているところがあったと思います。

	・第1部会ですでに結論がでていることが議論されていたところがあります。 ・第1部会からの項目案、具体的施策案については、“市民が主人公”だとか、オンブズマンとか、危機管理などの個別の施策は一部に取り入れられてはいます。前文は当部会の皆様のご協力を得てまとめた第1部会の案を提案しています。 ・討議は大変だなあと感じました。 ・神尾委員さんがおっしゃるように、疲れてくるとトゲトゲしくなりやすいところがあります。 ・たとえ話が多いなどは、民俗学者の宮本常一氏の寄合の研究でも指摘されており、その話と非常によく似ていて日本的だなあと感じます。 ・意見を言うだけ言わせておいて、まとまらないとなると、正副部会長一任というのが自民党のやり方ですが、編集委員会でもそうしたところが必要だったかもしれません。 ・中身的には第1と第4が独自のカラーを出しているのかなと思います。われわれは“フランス料理のフルコース”で、第4は“そうめん”ですっきりいこうと、他はまさに“おでん”、材料だけ入れておこうということだったのかなと思います。 ・質的には、第2、3、5部会が似ていて、足し算引き算がしやすいのですが、第1部会と第4部会は質的に少し異なったので、まとめにくかったのだと思います。 ・素素案のたたき台は、ある程度文章になっていますし、完成形に近づいているのではないですか。 ・デッサンはできてきたと思います。無駄な枝葉は整理できたと思いますが、何の木かはわからないという感はします。また、最後に編集委員長からの提案で、第4部会と第1部会の案は他の部会とは違うので素素案たたき台といっしょに、つまり3つの案を調整部会に出してはどうかという提案もあったのですが、編集委員会はまとめるためのものではないかということでその提案に反対をして、素素案のたたき台で一本化しました。 ・編集委員会では、ひとまず1本化されましたので、新たなステージに移ることとなります。 ・広報PIについての報告をお願いします。
--	---

- ・ 9月14日に市民フォーラムを行いまして、それがメインになります。
- ・ その後で、地区別の対話集会を計画しています。これは部会の皆様のご協力を得ながら進められたらと思います。
- ・ 市民フォーラムは第1部として講演会を予定しています。第2部としてはパネルディスカッション。“市民が語る自治基本条例の夢”というテーマで、4名の編集委員さんをお願いしたいと考えています。
- ・ 市民フォーラムは280席を用意する予定です。9月の広報紙に掲載します。
- ・ ポスターは林のほうでデザイン案をつくらせていただいて、専門の方に作成いただくということで、進めております。多様な市民がいろんな考え、生き方で川口に花を咲かせる、それを未来世代に伝えていくというメッセージで考えました。
- ・ 対話集会については各部会のお知恵もいただきたいと考えております。
- ・ 広報PIチームも10回も検討いただいております。当面は市民フォーラムです。
- ・ ぜひご参加ください。また、市民の方をお誘いいただければと思います。
- ・ 素案もまだ固まりきらないなかで分散型対話集会をどのようにやるのでしょうか。
- ・ その対話集会で、それぞれ委員が勝手なことを言ってもいけないでしょうし。
- ・ 出た意見をどう反映するかはきちんと決めておかないといけませんね。
- ・ こちらの案が固まっていなくて、「検討します」としか言えないでしょうね。
- ・ あまり案が固まった段階ですと、今後は市民の側から意見を言いにくいところがありますし、難しいところです。
- ・ 運営調整部会の状況についてご発表願います。
- ・ 7月7日は市民フォーラムの案について検討し、委員からいろいろな意見が出まして、再度広報PIで検討いただきました。その後、7月30日に新しい案について検討し、概ね賛同が得られたと思います。
- ・ 対話集会については部会で考えてほしいということでした。ある程度ベースになるものを広報・PIで検討するということでした。
- ・ 市民フォーラムは私から、パネリストが男性ばかりなのはどうかという話はしました。

	・私も同じことを広報 PI チームで言いました。 ・神尾委員さんにパネラーになっていただければと思うのですが。 ・第 1 部会の編集委員 2 名は当日、残念ながら参加できないので第 1 部会からのパネリストとして第 1 部会・女性委員にお願いしたいですね。 ・編集委員だけのディスカッションですと、彼らで分かる話をされると、観客が置いてきぼりになってしまう可能性があります。 ・神尾委員さんは観客のたとえば、主婦の方が思うような、素朴な疑問をディスカッションでぶつけていただければと思います。 ・観客のためになることを考えないといけませんよね。 ・第 1 部会としては神尾さんをお願いしたいと思います。 ・調整部会では、編集委員長は編集委員会の報告というよりは、ストレスを発散された印象を受けました。たたき台の内容の説明はほとんどなく、苦労話を中心でした。 ・周りはすごく励ましていました。 ・編集委員長は各部会の垣根をとりはらうアイデアがほしいという話がありました。 ・部会で垣根をどうはらうかということを検討してくださいということです。 ・ここまで出来上がったものを各部会から持ってきてほしくなかった、まとめにくかったともおっしゃっていました。 ・編集委員会に持ち寄られた他部会の項目案・全体像について感じたことは、「パーツだけではなく、やはり骨格・全体的構成がないといけない」と思います。編集委員会の議論でも各論だけやると、次のときには別の意見・主張をいう人もいました。 ・重々よく分かります。大事なことの 1 つとして、市民フォーラムについては、各編集委員からという提案でした。第 1 部会から神尾委員さんを推薦するとなると言い方によっては、蒸し返されたと感じる人もいるので注意が必要です。 ・議員はパネラーにならないほうがよいという話は、議員ですと、どうしても政党などで見られることがあるので遠慮したほうがよいと思います。
--	--

	・編集委員会からの報告についても、いったりきたりしながら進めるしかないのではないのでしょうか。 ・部会をシャッフルしたほうがよいのかなどは、もし行う場合は全体会での承認が必要だと思います。 ・責任をとるに人は悩むものです。部会がベースだと思いますから、素案について検討する必要はあると思います。 ・各部会は各部会としてのまとまった修正案は出さずに、各委員の個別の意見を出すということになりました。 ・部会の再編は時間があるならよいのですが、現時点では現実的ではないでしょうね。 ・編集委員会での議論は拡散型でしたね。 ・編集委員長は、進め方として、「編集委員みんなで、個々の項目案等について、大いに徹底的に議論しよう」ということで編集委員会をリードしましたが、収れんさせることはなかったと思います。 ・「素案たたき台」の中身について検討しましょう。 ・どんな議論があったのかをお話したいと思います。 ・名称案も複数あります。何のための条例なのかという考え方が異なるためです。 ・前文については不要、短くという意見もあります。私が考えますのは、川口らしさを前文にも出せないかということに基づき、前文は必要だということになり、今の案にしています。 ・目的のところはわれわれの案はもっと市長・議会（議員）・市職員の専横をチェックするという過激な書き方だったのですが、編集委員会としてはこのような案にしています。 ・自治の基本理念についての説明がありません。 ・定義については、いろいろな言葉について定義する必要があるのではないかと議論がありましたが、「市民」と「自治」の二語について定義することにしました。 ・自治については定義する必要があるという意見を私は申し上げました。 ・協働についてはかなり議論しました。第１部会としては、市民参加についての当部会の考え方もあり、協働について自治基本条例に規定すべきでない、と主張しました。他部会は、協働を柱として考えており、素案に入りました。 ・編集委員会では第１部会の提案はもう何も参照されないのでしょうか。
--	---

	見てもらったほうがいいと思います。 ・たたき台に意見をいうのはできます。 ・第1部会からの意見として、たとえば、体系については第1部会の案でといった提案はできます。 ・行政・市政経営については随分、我々、第1部会の案を盛り込んでいます。 ・人事評価制度については相当議論しましたが、人事評価という内部の事項について規定することは否定的な意見が多く出されました。 ・運用検証委員会が一番問題になりました。性悪説にたつと、自治基本条例で謳ったことの実現が市当局に放置される危険性があるので、検証委員会が必要という意見がありました。これについては、私は検証委員会までは必要ないのではないかという意見を申し上げました。 ・ではこの「素案たたき台」について、次回の委員会までに紙などを出していただけるとまとめやすいのではないかと思います。 ・以上で本日の部会を終了します。 以上
次回以降日程	次回は8月20日（水）18:00 から。